

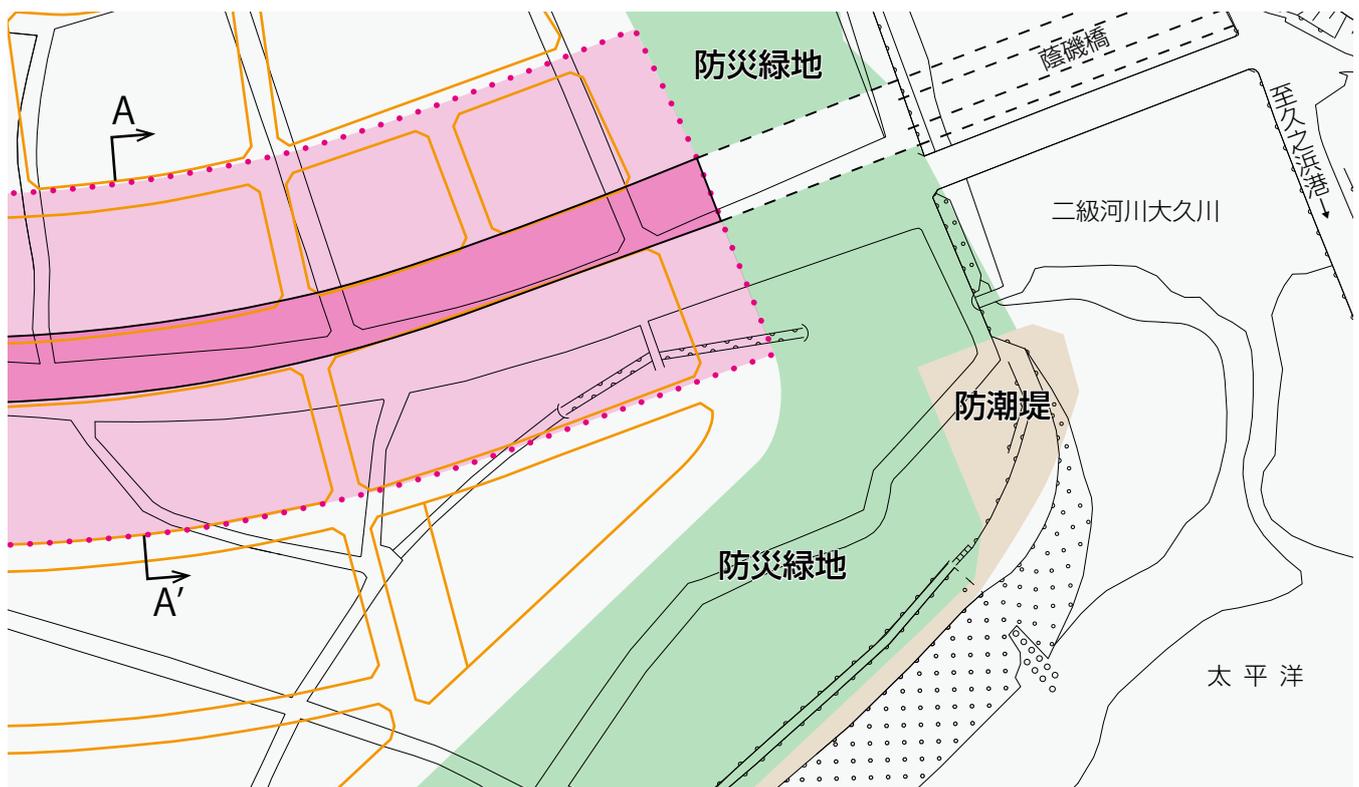
■具体的な方策

- 良好なまちなみづくりのため、建物の形態や色彩に配慮し、統一感を演出します。
- 生垣や樹木、草花等による緑化を進めます。
- 暖かさを演出するひかりを積極的に活用します。
- 快適な歩行空間の創出に努めます。
- 自動販売機・屋外広告物は必要最小限とし、周辺景観との調和を図ります。

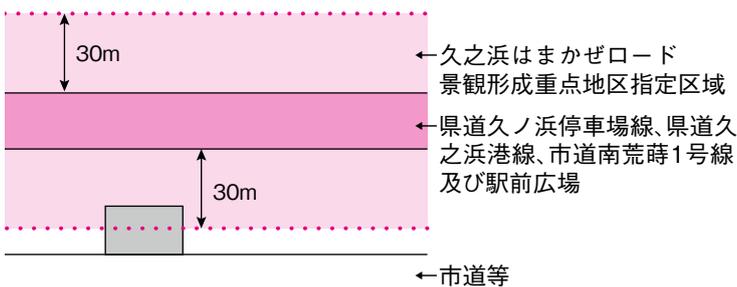
■景観形成重点地区 (H28.3.25指定)

- 名称 久之浜はまかぜロード景観形成重点地区(※)
- 位置 いわき市久之浜町久之浜字町後、字沢目、字北町、字東町、字南荒蒔及び字北荒蒔の各一部の区域
- 面積 約2.6ha

(※)名称は H27.10 復興祭において実施したアンケート結果をもとに決定。



■凡例



■区域

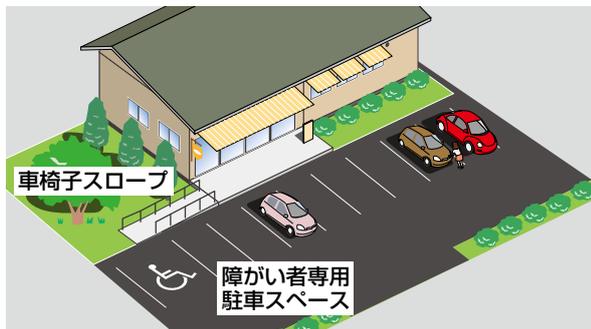
区域の指定は、県道久ノ浜停車場線、県道久之浜港線、市道南荒蒔1号線及び駅前広場の用地境界から30mの範囲とします。ただし、上記路線及び用地に接していない敷地(左図  部分)は除きます。

建物

1 人への配慮

○お店作りに当たっては、バリアフリーやユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、人にやさしいまちなみづくりを進めましょう。

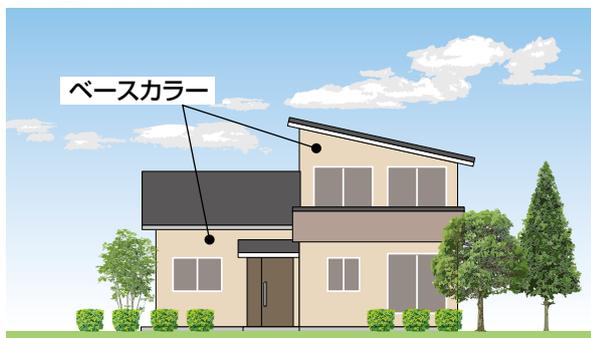
- 車椅子スロープを取り入れた人にやさしいお店作り



2 建物などの色づかい・素材

○ベースカラーは落ち着いた色調としましょう。
 ○壁面や屋根には反射性のある素材・材料（※太陽光パネルは除く）を使用せず、できる限り自然系の素材・材料を用い、周りの建物と調和した色合いにしましょう。

- ベースカラーとは、建物の大部分を占める基本となる色をいいます。



- 自然系の素材・材料



●調和した色使いの方法



○類似色調和
 よく似た色彩を使った配色。建物の色を色相・明度・彩度が類似する色彩(類似色)でまとめています。



○色相調和
 色相をそろえてトーンに変化をつけた配色。建物の色を同一または類似する色相でそろえ、明度や彩度に変化を持たせています。



○トーン調和
 トーンをそろえ、色相に変化をつけた配色。建物の色を同一又は類似するトーンでそろえ、色相に変化をもたせています。



×悪い例：高彩度による不調和
 高彩度の色彩は周辺の景観と調和しません。これらの色彩の使用は、町並みや自然環境では特に控える必要があります。



×悪い例：色彩の組み合わせ不調和
 できる限り、いろいろな色彩の使用を避け、またアクセント色として使用する場合、周辺景観や建築物とのバランス、色数等に配慮しましょう。

3 建物の統一感

○道路に面している壁面部分は、できるだけ多くの開口部を取り、ガラスを採用することで、明るい拓かれたイメージをつくりましょう。
 ○建物の壁面の位置は、道路からできる限り後退させるか、やむを得ず後退できない場合は、歩行者等に圧迫感を感じさせないように、できる限り壁面の前面部を生垣や植栽等により修景しましょう。

- 建物と道路の空間を広くとりましょう。

